

話題商品

ホート デミ・ダイヤモンド

小バエ用
防除と調査
兼用トラップ

簡単な組み立て。



誘引物を
入れるくぼみ



誘引物の例

ビールやフルーツジュース、果物、
小型発光体など

粘着シートは同定フィルム付。



対象昆虫

局所的に発生する
小バエ類、チャタテ
ムシ類、甲虫類、蛾類
侵入口の分からぬ昆虫達



シンプルだから使いやすい！
吊っても置いてもOK！



ホート デミ・ダイヤモンドセット

ステーション50+粘着シート100
(同定フィルム付)入り

0000369

ホート デミ・ダイヤモンドシート

粘着シート500(同定フィルム付)入り

0000370

組み立て方



ショウジョウバエの管理

ウィリアム・ロビンソン博士

PMP

遺伝学の実験材料として有名なキイロショウジョウバエに代表されるショウジョウバエ科のコバエは、腐敗した果物や野菜などに集まって来ます。衛生的管理を怠るとすぐに発生してしまいます。

日本ベストコントロール協会技術委員会が発行した『建築物におけるIPM仕様書 ネズミ・害虫等の調査と防除基準』においても、注意すべきコバエ類として記載されています。

アメリカの衛生監視官の中には、ショウジョウバエ類を、非衛生的環境の指標としている人もいます。今回は、このショウジョウバエ類についてお話しします。

ショウジョウバエ類の仲間

ショウジョウバエ科のバエは、fruit fly もしくはvinegar fly と呼ばれ、世界中の温暖な地域に生息しています。約3000種が知られ、そのうち、1595種がDrosophila 属に属します。ショウジョウバエ類の大部分は、熱帯地域の野外に生息しており、都市部で見ることはありません。Drosophila 属の約10種だけが、人の生活空間に関わりを持ち、屋内・外で生活しています。

目の色による分類

ショウジョウバエ類には、赤目のショウジョウバエ類（キイロショウジョウバエなど）と黒目のショウジョウバエ類がいます。同じショウジョウバエ類でも目の色によって食性と習性が異なります。

習性の違い

赤目のショウジョウバエ類の成虫と幼虫は、有機物が発酵する時に現れる酵母菌と細菌を食べます。幼虫は堅い口器を使用して、腐食物の表面をすくいとり、口の中にいれていきます。湿

った食べ物は濾過され、小さな酵母菌や有機物が取り込まれます。

ショウジョウバエ類は、果実食性と腐食性を示します。果実食か腐食のどちらか一つに限られる種もありますが、多くの種では両方の性質をもっています。しかし害虫管理の現場においては、ショウジョウバエ類の目の色による食性の違いは参考になるでしょう。

赤目のショウジョウバエ類は、発酵した果実・野菜で育つことが多いです。これらの成虫は、発酵物質の中に含まれる、エチルアルコールや酢酸のような揮発物質に誘引されます。そのためにショウジョウバエはvinegar fly（果実酢コバエ）とも呼ばれます。またショウジョウバエの“ショウジョウ”という名も、酒好きで有名な中国の伝説上の動物の名前に由来します。

黒目のショウジョウバエ類は、腐敗した有機物の中で育つことが多いです。これらは、発酵物質の習性と食性が異なるので、まずは発生しているショウジョウバエ類の目の色を見分ける必要があります。

基本的な防除戦略は、①成虫の駆除、②発生源の除去、③清掃の徹底です。

赤目のショウジョウバエ類の防除

①成虫の除去

発生源の近くで、風の流れがないところに、ライトトラップを設置すると、効果的に捕獲することができます。小さな捕獲器に食酢や酒類を入れて、成虫が一日中観察される場所に置くのも良い方法です。

②発生源の除去

全ての野菜・果物置き場を調べます。傷んだ野菜・果物をすべて捨て、その場所を石けん水で、徹底的に掃除します。発生源が分かりにくい場合は、成虫が飛んでいるのが見られる場所に、数多くの粘着トラップを数日配置して捕獲数を調査します。使用する粘着トラップは、ショウジョウバエ類の発生場所を考えると、水に強いトラップが望まれます。またショウジョウバエ類は壁に止まることが多いので、壁に取り付けられる縦型のトラップが良いでしょう。捕獲数の多

い場所を中心に、もう一度トラップを増やして調査すれば、発生源をほぼ確認できます。

③発生源を除去した後は、再度発生しないように、定期的な清掃の実施が重要です。定期的清掃と同時に粘着トラップを配置して、定期的にモニタリングして発生がないことを確認することも重要です。モニタリング期間は、ショウジョウバエ類の発育日数を考えて、冬場で2週間から1ヶ月、夏場で1週間から10日間が良いでしょう。

黒目のショウジョウバエ類の防除

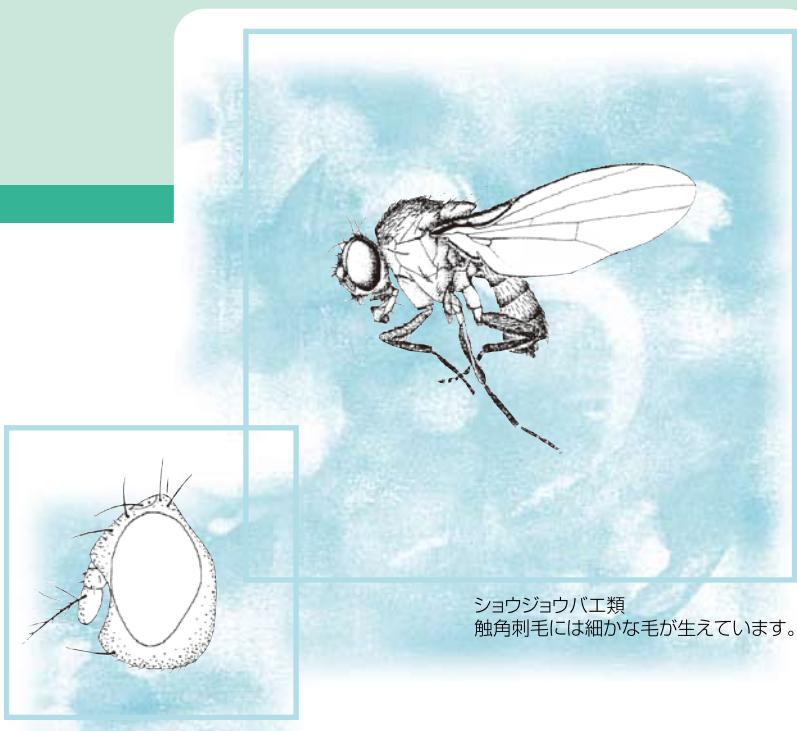
①成虫の防除

成虫は、キッチンの壁や天井で休んであまり飛翔しないため、ライトトラップにも僅かにしか誘引されません。腐敗した有機物の臭いを好むため、食酢などではありません。

この仲間は壁にとどまり、頻繁には飛ばないため、発生した成虫をすぐにノックダウンさせるために、空間噴霧（食品や食器を養生した後、キッチンに誰もいない時に）が使用されることが多いです。

②発生源の除去

すべての排水部及び壁隅の部分を洗います。腐敗した有機物が黒目のシ



ショウジョウバエ類
触角刺毛には細かな毛が生えています。